

令和ルネッサンス

設楽町文化協会会長

後藤 郁夫

あまりにも長いコロナの影響は、全世界の文化活動を停滞させると共に、私たちの心の安らぎ、活力を押さえてきた感じがします。心身共に健康のありがたさを感じつつ、新たに文化活動を再興させようではありませんか。長い間、各活動に努力をしてこられた皆様、ありがとうございます。令和ルネッサンスの始まりです。

すでに各地区での特色ある活動が始まっています。先日、田口地区のコミュニティのイベントに参加させていただきました。会長さんを中心に、素晴らしい会を実施しておられました。今までの実績の上に、更に工夫がなされ、参加者の皆様に充実した時間を与えていただきました。皆様の楽しそうな顔が忘れられません。会を進行された方々のまとまった動きが、より楽しさを倍増させていると思えました。いろいろな部署にスタッフを配置し、年齢も考えている点は、次世代を育てる配慮がなされ、今後も楽しみです。

郷土館発

令和四年度取組み概要と

近況の報告

昨年五月十四日に「道の駅」開駅一周年祭が行われ、開館二年目を迎えました。本号においては、令和四年度の取組概要及び本年度の近況について報告します。

年間入館者数の実績

- ・ 開館日数 三〇八日
- ・ 二階来館者 二九、七六九人
- ・ 有料展示室 七、三二三人
- ・ 入館率 二四、六%

「曜日別二階入館者数」は、金曜日の九、六%（二、八六四人）が最も少なく、月・水・木曜日はいずれも一〇%を僅かに超える程度で推移しています。

また、一周年祭における五月十四日から二十二日までの「入館料無料ウィーク」（八日間）の来館者数は、二、七一一人（日平均・三三九人）を数えています。

展示室、企画展示エリア及びギャラリーなどを活用した開催状況

〈企画展〉

- ・ 愛知県埋蔵文化財センター「悠久の記憶」(後日、パネル展)
- ・ 「田口鉄道と森林鉄道」
- ・ 「海老布絵教室展」(二回)
- ・ 写真展「東三河の風景」
- ・ 文化協会作品展

〈イベント〉

- ・ 「夜の奥三河郷土館劇場」
- ・ 「森林Fes」(クイズ出題)
- ・ カラーコーン手作りワークショップ

・ 水土里ネット研修(ダム講話)

・ 生涯学習講座「正月飾り」

今後多面的な展示、効果的な施設の活用が広がりにつながりたいと思います。

団体入館者の積極的な受入れ

小中学校始め大学、諸団体や観光協会と連携した民間バス会社ツアーなどです。

※団体数 三四件(七八五人)

本年度の主な取組事業

- ・ 観光協会「設楽の巨木展」
- ・ 企画展「山家三方衆の苦惱―田峯菅沼氏―」(展示中)
- ・ 「近世藩政村絵図展」(予定)
- ・ 次件は、来年一月まで開催
- ・ 「あいち家康戦国絵巻ラリー」
- ・ 大河ドラマ館との相互割引

施設機能の活用、

拡充を図る新たな取組

本館の特徴的機能としては、常設展示の他、「収蔵展示」による収蔵庫の設置があります。

今後、有機的に機能発揮ができるよう、既に生涯学習講座も計画されています。一層多くの方々に愛され、貴重な収蔵資料を公開できる機会を設けるため、具体的な実施方法などを検討してまいりたいと考えています。

(奥三河郷土館長

原田 和久)